



やまだ

議会だより

No. 174

2022. 2. 1発行
岩手県山田町議会



山田中学校生徒と 意見交換会を開催！

総務教育常任委員会では、山田中学校を代表して生徒会の皆さんと、意見交換会を実施しました。
(関連記事14～15ページ)

12月 定例会

旧大沢小解体工事可決 - 2 P

町政を問う (9人が一般質問) - 4 P

議会活動レポート - 13P

12月 定例会の あらまし

令和3年12月定例会は12月14日から16日まで3日間にわたって開かれました。町長提案の議案17件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

一般質問では9人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(4〜12ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。



解体工事が決まった旧山田町立大沢小学校

新たなコミュニティ施設建設へ

旧大沢小 解体工事 可決

旧 山田町立大沢小学校の敷地内に新たな大沢地区のコミュニティ施設を建設するため、議案「旧山田町立大沢小学校校舎解体工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて」が提案され、全員賛成で可決しました。

▽受注者
蒲野建設株式会社
宮古営業所(宮古市)

■質疑応答
問 旧大沢小学校は耐震のことを考え、危険だということなどで急ぎよ解体することになったのか。それとも、コミュニティ施設を建設するためか。
川守田政策企画課長 解体については、地域の方から一部分残してくれないかという要望もあったが、しっかり話し合いを行い、全て解体し新しく建てることに同意を得て進めている。基本的に校舎も古くなってきたり残すとしても維持管理もかかることから、解体し新しく建てるということとなった。

■工事の概要

▽校舎解体・撤去

2278・52

▽プール・付属棟解体・撤去
平方メートル

▽その他施設等解体・撤去
平方メートル

▽工期
3年12月20日
〜4年3月31日

▽請負契約金額
9042万円

定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■船石橋補修工事へ

平成30年3月に策定した「山田町橋梁^{きょうりょう}長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した荒川地区の船石橋を修繕するため、工事請負契約について議決を求める議案が提案され、全員賛成で可決しました。

▽工期

3年12月20日～4年3月31日

▽契約金額

6421万円

▽受注者

佐々総業株式会社（山田町境田町）



補修工事となる船石橋

■一般会計補正予算を可決

新型コロナウイルスワクチン接種事業や子育て世帯への臨時特別給付金事業など、新型コロナウイルス感染症対策関連事業などの予算調整を行うため一般会計補正予算（第5号）が提案され、全員賛成で可決しました。

また、一般会計補正予算（第5号）が可決されたことに伴い、一般会計補正予算（第6号）が追加提案されました。これは、子育て世帯臨時特別給付金事業を実施するにあたり、第5号で計上した先行給付分と合わせ10万円を現金で一括給付を行うことを目的に提案されたものです。一般会計補正予算（第6号）も、全員賛成で可決しました。

これらにより、補正後の一般会計予算の総額は、歳入歳出ともに113億2065万円となりました。

子育て世帯臨時特別給付金事業について

子育て世帯に対する臨時特別給付を所得制限を設け実施することが国で決定されました。これを受け町では、独自支援として、所得制限を設けずに0歳から18歳の全ての児童に給付金を支給します。

人事案件

町教育委員会の委員 小野寺恵美氏の再任に同意



おのでら めぐみ
小野寺恵美氏

現在の教育委員である小野寺恵美氏の任期満了に伴い、小野寺氏の再任に同意することについて、全員賛成で同意しました。任期は3年12月18日から7年12月17日までの4年間です。

お知らせ

次の定例会は
2月15日（火）に
開催される予定です。
お気軽にお越しください。

第4回臨時会（11月26日）

議案2件を審議し、どの議案も賛成多数で原案のとおり可決しました。

■特別職・一般職の

給与条例改正

給与改定の勧告に基づく県の例に準じて、特別職並びに一般職の職員等の期末手当支給月数を改定するため、条例の一部

改正を行いました。このことから特別職・一般職の職員ともに期末手当の額が引き下げられます。

■質疑応答

問 3年は新型コロナウイルスの対応、ワクチンの関係で非常に職員が大変だったと思う。そういう時期に、期末手当を下げるのか。

昆総務課長 ご指摘のとおり、コロナに伴う様々な業務に職員は携わっている。引き下げについては、様々な受け止め方があることは承知しているが基本的には、町はこれまで県に準拠して給与改定をしてきたという経過もあることから、今回も改定を行いたい。

問 防潮堤の避難階段に照明を

答 必要な箇所に早期整備



あべよしえ 議員
阿部吉衛 議員
(新 生 会)



手すりや街灯の設置が待たれる防潮堤上部

問 令和3年3月定例会でも防潮堤について質問しているが、再度質問する。町内各地区において防潮堤が完成しつつあるが、防潮堤の上部に手すりや安全柵がないところ

がある。また、避難階段に街灯が設置されていない場所が見受けられる。3月定例会では3年度中に設置予定との答弁だったが、予定どおり設置されるのか。

佐藤町長 宮古水産振興センターに確認したところ、防潮堤の手すりや安全柵については、大沢、山田、大浦の3地区が3年度内に、船越地区は4年度末までにそれぞれ設置すること。避難階段の照明については、避難誘導看板を設置した後、必要箇所を検討し、その上で早期設置に努めること。

意見 いつどいう災害があるか分からない。水門や防潮堤が早く完成をするよう、県に求めている。

問 旧山田北小学校の利用計画は

答 4年度に活用基本計画を策定

問 公共施設等総合管理計画推進委員会の議論も一区切りついたようであるが、統合予定の施設、リフォーム予定の施設、廃止予定の施設はどこか。

町長 大沢地区のふるさとセンターと旧大沢小学校校舎の避難所機能を複合化し、新たに大沢地区のコミュニティ集会所として、5年度の供用開始に向け進めている。豊間根生活改善センターと豊間根支所についても、新たに豊間根地区コミュニティ集会所施設・豊間根支所として、7年度に供用開始する計画で、地域との意見交換会を実施している。現時点でリフォームを予定している施設は、旧山田北小学校校舎で、4年度に活用基本計画を策定し、その結果に基づき実施時期等の

検討を進めていく。

問 旧山田北小学校について、校舎は学校教育課、グラウンドは生涯学習課、旧放課後児童クラブの建物は政策企画課、周りの土手などは都市計画課と、複数の課が管理している。窓口を一本化できないか。

川守田政策企画課長 今後、受付した窓口が関係課へ連絡するなど、申請者の方の手間にならないように考えていきたい。

その他の質問

- ◆災害公営住宅の空き室対策は
- ◆郷土芸能団体の育成方針は

問 行政区長のなり手不足解消を

答 業務の見直しを進める

問 各地区において行政区長の高齢化により、区長業務に相当苦勞をされており、また、「なり手不足」問題がある。今後どのような対策を講じていくのか。

佐藤町長 区長業務については、規則で文書や広報などの印刷物の配布を始め、町民への各種伝達や環境衛生事業への協力に関することなど定めているが、このほか、各

団体等の会費や募金等の取りまとめに関しても、ご協力をいただいている。また、「なり手不足」の問題について、作業負担が理由の一つと捉えている。このため、本年度

はお願いしている各団体等の会費や募金等の取りまとめに関し、従来の5つの業務から3つの業務に縮小したところであり、今後も過度な負担とならないよう、調整して

いく。高齢化と人口減少が進むにつれ、さらに人材確保が難しくなるものと受け止めており、各地区の実情を踏まえながら行政事務の円滑な処理に努めていく必要があると認識している。



議員 清 新 (議会)

その他の質問

- ◆ 不登校・いじめの対策は
- ◆ 危険通学路の補修計画は
- ◆ コロナ後の各イベントの開催計画は



たくさんの配布物の整理が作業負担の1つです
(写真は広報やまだ12月1日号と同封された配布物)

問 幼保再編計画の現状は

答 勉強会を開催している

問 幼保再編計画については、議論が進んでいると思うが、私立・公立の取り扱いなど現状確認すべき点は何か。

町長 幼保再編については、公立と私立を含め、町全体としての教育・保育施設の在り方を議論するものであるが、現時点では、就学前を取り巻く環境に関する町の課題や県内の状況等について、勉強会を2度開催して、認識の共有を図っている段階である。私立施設については、各法人における課題や経営方針があることから、今後も慎重な議論が必要であると認識している。

意見 少子化の進行に伴い、避けては通れない問題だと思う。町長をはじめ、担当課の頑張りを期待する。

問 タブレットの特徴ある活用は

答 効果的活用に努める



議員 清貴 きたか せき 関 (政 和 会)

問 GIGAスクール構想でタブレット端末が児童生徒に配備された。町は特徴のある活用を考えているか。

佐々木教育長 タブレット端末の使用が始まったばかりで、各校の教員で構成するGIGAスクールICT活用推進委員会で研究を進め、児童生徒に効果的な活用がなされるように努める。

問 タブレットの導入により全国的にいじめや中傷のトラブルがあると聞くと本町ではどうか。

教育長 授業中など教員の管理下での限定利用とされていることから発生していない。

問 今は大丈夫なのは理解できる。いつどこでどのような形で発生するか

わからないのでは。

芳賀教育次長 管理ソフトで監視している。発生しないものと考えている。

問 学力テスト・体力テストの結果、国、県と比較してどのような傾向がみられるか。

教育長 学力テストは小学生が全国を若干下回り、中学生は全国との差が開いている。体力テストは小中学生とも県、全国と比較して下回っている種目が多い。

問 10年先、20年先を考えた、町では教育をどのように考えているか。

教育長 学校、家庭、地域で連携し、主体的に取り組む姿勢を持たせたい。町ぐるみで子どもを育てて行きたい。



タブレット端末の授業に取り組む児童

- ◆ 庁舎周辺の駐車場等の管理は
 - ◆ ハラスメント対応の研修は
 - ◆ 入江田沼に流入する土砂対策は
- その他の質問

問 磯焼け対策は

答 3年度より取り組みを支援

問 今年のアワビは実入りが悪いと聞くが、磯焼けに対する支援事業は。

佐藤町長 三陸やまだ漁協には藻場造成事業に支援する準備を進めている。船越湾漁協には3年度から実施したコンブを漁場へ設置する海中林造成事業に支援している。

問 震災復興事業「がんばる養殖」で養殖漁業者は国の支援を受け早期に復興した。養殖資材等の買い替え時期だと思いが、いかだ等の購入を支援する考えは。

町長 東日本大震災以降、様々な支援事業を展開し、3年度も特定養殖共済掛金への補助など実施していることから、現段階で新たな支援策は考えていない。

問 町の6次産業化への取り組みは。

町長 農産物や加工品のPR、衛生管理の向上に向けた取り組みを進めている。引き続き、産直運営団体等の意向を確認しながら必要な支援を行いたい。

開し、3年度も特定養殖共済掛金への補助など実施していることから、現段階で新たな支援策は考えていない。

用語解説「海中林」
海中林とは、海中でコンブやワカメなど比較的大きな海藻が生い茂り、林のようになっただけです。



あべ こういち 議員
阿部 幸一 (新 生 会)

問 オランダ島が浮き棧橋の理由は

答 潮位変動に対応するため

問 オランダ島の棧橋は震災でも残ったものだが、あえて浮き棧橋にした理由は何か。

佐藤町長 以前の棧橋は

震災による地盤沈下でかさ上げが必要だったが、かさ上げすると床版を支える杭の耐久性、安全性に問題が生じることから解体撤去し、潮位の変動の影響もなく乗降できるなど利便性が高い浮き棧橋を新たに整備した。

野口水産商工課長 1億3618万円である。

問 トイレのくみ取りの費用は1回あたりいくらくらいか。

水産商工課長 まだ一度もくみ取りはしていないが、予算は100万円計上している。1年に1回のくみ取りが必要と環境省から聞いていたが、あと2年程度はしなくても大丈夫と判断している。

問 トイレの設置位置で苦情はないか。

水産商工課長 苦情を受けたことはない。



潮位変動に対応したオランダ島の浮き棧橋

問 ふるさと納税の改善点は

答 新たな返礼品の発掘

問 今年度のふるさと納税の目標は。

町長 現段階では2億円としている。寄付額の総額は11月末時点で対前年比28・7%増の1億4104万円、寄付件数は32・4%増の8855件である。

問 近隣と比較するとどうか。

町長 近隣との比較だが、宮古市は非公表、大槌町は11月末現在で1億5190万円、6459件とのこと。寄付額は本町とほぼ同額だが、返礼品数は本町の170品目に対し、大槌町は300品目超となっており、この差が一つの課題である。

問 本町の人気の返礼品上位5品目は何か。

町長 多い順に、水産物、キノコ類、水産加工品、農産物、菓子や加工

肉等のその他加工品である。

問 大槌と比較して少ない返礼品を今後どのようにして増やすのか。

水産商工課長 大槌町との違いは、品数のほかに生肉やカニなど山田町では出品していないものがあり、どのようなものを返礼品として出品できるか研究している。

その他の質問

◆葛巻町の特定地域づくり事業協同組合を本町でも検討してはどうか

問 職場環境改善への働きかけは

答 関係機関と連携し支援に努める



議員 木村 洋子 (日本共産党)

問 総務教育常任委員会において、11月17日に山田中学校生徒との意見交換を行った。中学生の皆さんからは、町の将来、復興や発展、コロナに関しての質問などがあり、素直な意見を聞くことができ、大変頼もしく感じ有意義な時間であった。そして改めて、若い人たちが町内に就職したとき、パワハラなどなく安心して働くことができ、希望を持てる環境が必要と感じた。SDGsの中にも、「働きがいも経済成長も」の項目がある。自分らしく生き生きと働ける職場環境が町の成長には欠かせないのでないか。町としても、役場も含めて、事業所等へ職場環境の改善を積極的に

働きかけて、従業員一人ひとりが、明るい未来を描けるようにしていくべきではないか。
佐藤町長 職場環境の改善に向けた民間事業所に対する指導については、岩手労働局やハローワークが中心となっており、労働者や事業所からの相談にも広く応じている。町のホームページでも厚生労働省が実施す

る支援制度の内容について紹介しているが、引き続き、関係機関と連携し労働者や事業所に対する情報提供・支援に努める。役場内においても、事業主の立場から職員が健康でやり甲斐を感じ、安心して仕事に取り組みことができるよう、今後もより良い環境づくりに努める。



SDGs (17の世界目標) の達成を山田でも!

問 町外専門医療機関への通院支援を

答 地域福祉の観点から検討する

問 デマンドタクシー運行計画の策定状況はどのようなになっているか。町内には専門の医療機関が限られているため宮古市等への通院を余儀なくされている実態がある。高齢や持病によっては鉄道やバスを利用できない場合もある。一般のタクシーでは料金が高額になるため予約制乗合タクシー(デマンド型)の運行を望む多くの声がある。運行計画の中に宮古方面などの経路を入れるべきではないか。

町長 現在、公共交通のネットワークに関する業務を委託し、コミュニティバスやまちなか循環バスの課題整理、デマンドタクシー導入の検討を進めている。町外通院者への支援については、地域福祉の観点から検討する。

その他の質問

- ◆ ワクチン接種会場へのタクシー代助成拡大を
- ◆ 医療機関等で感染拡大を防ぐ対策は
- ◆ コロナ禍で事業者の状況と支援は
- ◆ 町営災害公営住宅の収入超過者への対応を県と同様にしている



議員 成 一 沢 黒
（ 所 属 無 ）

問 鯨館西側道路の舗装を

答 不陸整正などで対応

問 船越公園内の道路が通行止めとなっている。公園内なので、仕方ないことであるが、不便になったと感じる方もいる。その代わりとなる道路が線路と鯨館の間にあるが、未舗装のため、雨が降るとデコボコになる。舗装できないか。また、田の浜踏切から、鯨館へ至る道路もところどころ傷んでいるので、合わせて整備すべきでは。

佐藤町長 船越公園内の園路は、公園利用者の園内の移動や散策などに使われているので、利用者や園内の安全確保のため車止めを設置した。鯨館西側の道路は、船越公園区域内の園路となっているので、路面の不陸整正など対応を検討する。また、田の浜踏切から鯨館へ至る道路は、現地を確認の上、舗装補修などの維持修繕に努める。



鯨館裏の未舗装路と船越公園内の車止め

用語解説

「不陸整正」

「不陸」は「ふりく」または「ふるく」と読み、平らでないことを意味します。土木用語では、地盤や路面がガタガタしている状態を指すことが多いです。「不陸整正」は、舗装などを行う前に路面の不陸を解消し、平らにする作業です。

問 河川の危険箇所は

答 町管理では3カ所

問 河川において、大雨で流量が増えた場合あふれそうな場所、護岸工事やしゅんせつを行っておいの方が良い場所は何箇所あるか。また、その工事予定は。

町長 町で管理する準用河川では、現在施工中の女川や秀禅川などを除き、大雨で川の水があふれる恐れがある箇所は、長内川、新田川および早川川の3カ所で、対策が必要であると考えている。今後の工事予定は、長内川と新田川についてはしゅんせつを、早川川は一部区間の護岸の改修を計画している、現在、4年度以降の工事着手に向けて測量設計等の作業を進めている。

問 学校給食の残食状況は

答 昨年より増加傾向

問 学校給食の開始にあたり、みんなと同じメニューを食べることで好き嫌いが減るのではないかと期待していた。残食があるとの話も聞か、実情はどうか。また、給食費の徴収は順調か。経済的には払えるのに払わない方はいるか。

佐々木教育長 残食は小・中学校合わせて重量比で月平均8・7%となっている。昨年度の6・0%から増加傾向にある。給食費の収納状況は、11月末現在で収納率99・3%。未納者への対応は、文書や自宅訪問などで解消に努めている。

問 エールチケット第3弾は

答 現時点で考えていない



よこ たつ ひさ 議員
横 田 龍 寿
(政 和 会)

問 やまだ飲食店エールチケット第2弾には長蛇の列ができ、当日の昼には完売した。第2弾は年末年始需要だと考えられる。さらなる飲食店の支援のために第3弾の発売は考えていないか。

佐藤町長 12月1日に第2弾を販売したばかりであり、現段階において第3弾は考えていない。

問 国の施策で一番補助額が大きいのは「業態の転換」だが人口の少ない地方では難しい。

野口水産商工課長 町独自の事業でも業態転換への支援に取り組んでいることをご理解いただきました。

要望 第3弾の発売を強く要望する。



エールチケット第2弾即完売の様子

問 国の「子育て世帯への臨時特別給付」について、独自に所得制限をしないという自治体が現れた。当町でも所得制限をしないで実施してはいいか。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援対象者に対し、速やかに支給できるよう、国の方針に基づき作業を進めている。

問 一律支給とした自治体の首長は「世帯の年収にかかわらず、厳しい状況にあることは同じ。」「コロナ禍のなか、大変な思いで子育てをされているご家庭には、差を設けることなく給付することが重要。」と述べている。政府は自治体が独自で財源を確保して行うことは「工夫の一つ」として容認している。私は今

答 国からの通知後、考えを示す

問 18歳以下全員に給付しては

回の支援には負担を軽減する目的と買い控えによる経済の冷え込みを抑える目的の2点があると考える。町長の政治判断を求める。

甲斐谷副町長 ここにきて国の方針が変化してきているが、国からの正式な通知のあと町長の考えを示したい。

その他の質問

- ◆ 船越公園遊具の計画的な整備を
- ◆ SNSを活用し鯨と海の科学館の集客を

問

山田北ICのフル化早期実現を

答

一日でも早い実現に向け要望する

問 震災以後、復興道路として進めてきた三陸沿岸道路が待望の全線開通となりさらなる飛躍を目指しそれぞれの市町村にその有効利用施策が期待されている。先日、町長は豊間根地区の自治会代表の方々から強い要望と利活用策の提言を受けた。早期実現へ向けての対応策について問う。

佐藤町長 町民の命と暮らしを守り支えていくうえで重要であり、物流と通勤利便性の向上は地域経済に資するものと期待している。企業誘致を前提とした北インター周辺土地の利活用をはじめ、防災上の観点からも必要性を整理している。

問 新・道の駅との相乗効果を含め今後の積極的な要望は。

町長 町内の周遊経路として選択肢が増えることになり、観光や交流の面で新・道の駅との相乗効果等も含め、引き続き一日も早いフル化実現を要望していく。



とよまねまこと
豊間根信議員
(政和会)

問

新・道の駅と町の活性化策は

答

町全体が活性化する施策を検討

問 新・道の駅の指定管理候補者も決定し、町内全域への経済活性化効果を期待している。町のゲートウェイとしてのよう

に活性化に取り組みの候補者も決定し、町内全域への経済活性化効果を期待している。町のゲートウェイとしてのよう

て町内各所に周遊・滞在してもらうことで波及効果がもたらす仕掛けづくりが重要である。町内の飲食店や商店街に足を運

問

次世代を担う新成人へのエールを

答

特産品宅配事業の実施を検討

問 コロナ禍の状況において、令和3年新成人式は苦渋の選択により開催中止となった。そういった中で実行委員会の方々と行政それぞれが密に連携を取りながら、記念誌の発行等最善の対応をされてきた。その中で町からは学生の方々に山田の幸の詰め合わせを贈ると聞いた。立場は違えどコロナ禍の影響を受けながら

も一生懸命に頑張っている皆さん方全員にも故郷の思いをしっかりと届けていただきたい。

町長 山田町を思い活躍されている令和3年新成人に対する応援策として、親元を離れ就労している社会人の方に対して、「故郷を感じられる特産品宅配事業」の実施を検討する。



学生のみへの支援をすべての令和3年新成人に
(こちらは山田町学生応援宅配事業の写真です)

問 大沢新開地地区の水路整備は

答 4年度から実施する



議員 明 光 梅 地 菊
(新 生 会)

問 大沢新開地地区は、雨が降ると水路が決壊し、住民が不安に感じている現状である。これについては再三要望しているが、この水路等についての整備計画について詳細に示せ。

佐藤町長 大沢新開地地区における水路等の整備計画については、同地区においては近年、宅地上流の沢からの流水が増加しているとの声をいただいております。また令和元年台風19号災害の際には住宅への浸水が発生していることなどを踏まえ、町では防災対策として、地区一帯排水路の改修整備について検討を進めているところである。現在、その整備手法や財源など課題を整理している段階で



早急に整備が必要な新開地地区の水路

あるが、4年度には測量設計を実施したいと考えており、引き続き早期整備に向けて準備を進めていく。

意見 町当局の決定に感謝する。今後は一日でも早い事業完成に向けて建設課の皆様の努力をお願いする。

答

支援していく

問

稲作農家への支援策は

問 2年連続米価が減少した稲作農家の皆様に、減少した差額分について支援金などで価格補填して農家の経営安定を図る考えはないか。

町長 米価下落対策について、米農家の生産意欲の向上と営農継続を支援するため、主食用米を販

問

大浦漁村センター前の整備は

答

4年度に整備する

問 大浦漁村センター前の広場について、センター利用者やスクールバス等の送り迎え場所のため一部分を舗装して、地区の方々の利便性を図る考えはないか。

町長 大浦漁村センターの駐車スペースについては、駐車できる台数が限られており、現状では十

分な広さではないものと認識している。広場の一部を駐車場として活用することにより、利便性の向上が見込まれることから、現在、利用状況や必要面積等を踏まえながら、駐車場の舗装・拡張整備について検討を進めている。

その他の質問

- ◆ 山田北一Cフル化の現況は
- ◆ 長林旧国道線の復旧計画は
- ◆ 街並みの形成に伴い街灯の再確認をしてはどうか
- ◆ 次世代に引き継ぐべき遺構等の保存管理方法は

議会活動レポート

9月定例会から12月定例会の間に行った議会活動を報告します。13ページが産業建設民生常任委員会の所管事務調査、14～15ページが総務教育常任委員会の所管事務調査の報告です。

産業建設民生 常任委員会

所管事務調査 (現地調査)

10月11日、産業建設民生常任委員会は、令和元年台風19号で被害を受け復旧工事を行っている箇所のうち、工事の延期を行った箇所について、再度現地調査を行いました。

視察箇所は準用河川女川(田の浜地区)や準用河川長内川(豊間根地区)など4カ所、現地で担当課から説明を受けました。

調査後、結果をまとめ、町政に対し要望を提出しました。



担当職員から現地で説明を受ける議員(左が田の浜地区の女川、右が豊間根地区の長内川)

町政に対する

要望と回答

要望 視察した災害復旧工事は、工期延長後の計画どおりの進捗である。引き続き遅れることなく進めていただきたい。やむを得ずさらに工期を延長する場合は、住民に丁寧な説明をしていただきたい。

回答 災害復旧工事の1日も早い完成を目指し、業者と調整しながら工事を進める。また、進捗状況を、工事かわら版等を通じてお知らせしているが、さらなる工期延長が予想される場合、住民への丁寧な対応に努める。

要望 建設業者は、残土置き場や雪捨て場に困っている。各地区の町有地を利用できるように検討していただきたい。

回答 残土置き場等は町有地や町有林等で検討しているが、地理的課題もあることから、引き続き適切な場所の確保に努める。

所管事務調査 (コロナ対応)

10月27日、産業建設民生常任委員会は、所管課のコロナに対する対応等について、聞き取り調査を行いました。調査対象は農林課、水産商工課、長寿福祉課、健康子ども課、建設課、都市計画課および上下水道課です。

調査後、結果をまとめ、町政に対し要望を提出しました。

町政に対する

要望と回答

要望 米価下落に対する助成は、宮古管内で足並みをそろえるようにしていただきたい。

回答 宮古管内市町村で足並みをそろえるよう協議を進めてきた。各市町村とも同額を支援する方針としている。

要望 介護予防の取組について、ラジオ体操等何かをきっかけに高齢者が

集まる取組を検討し推進していただきたい。

回答 これまでも介護予防教室など参加した方に、継続して体操や交流を通じた介護予防に取り組みるよう、様々な支援を行ってきた。今後も、通いの場の活動支援や周知、その運営を支える地域のボランティアの養成などを行いながら、介護予防の推進に努める。

要望 コロナワクチンの3回目接種が始まるようなので、町民に対して必要な情報を十分に周知し、必要な体制の構築に努めていただきたい。また、職場の環境や職員の待遇などが適切かどうか検証していただきたい。

回答 コロナワクチン3回目接種は、国・県からの情報を基に、町民に適切な周知をし、円滑に実施できるように体制の構築を図る。職場の環境や職員の待遇については、業務内容を精査し、効率化を図り、安全な職場環境の整備をし、働きやすい職場づくりに努める。

山田中学校生徒との意見交換会



生徒の皆さんから委員への質問

- 新型コロナウイルスに対する町の対策（もしクラスターが発生したら）と山田町の飲食店の経済状況は。
- 議員をやっていて大変なことは。
- 山田の重要産業である第一次産業を今後どうしていくか。
- 山田の中学生として求められることは。
- 山田の豊かな自然を守るために一人ひとりができることはないか。



新型コロナウィルスは、私たちの生活を大きく変え、移動の制限、大会やイベントの中止など、様々な影響を与えました。そのようなコロナ禍で、学校生活を送る生徒にはどれほどの影響が出ているのか、生徒は何を求めているのか、生徒自身の声を聞きたいと思い、山田中学校生徒と意見交換会を開催することにしました。

新型コロナウィルス感染症に関することをメインに意見交換を行いました。生徒の皆さんからは、町のことや議員のことについてなど、幅広く質問がありました。

全て紹介することはできませんが委員から生徒の皆さんへの質問3つと、それに対する生徒の皆さんの答えを掲載します。生徒の皆さんから委員への質問は左記に掲載します。

コロナ禍の今だから

伝え合うこと

質問1

家族とコロナについて話したことは



基本的な対策
密や不要な外出を避けること
遠征に参加するかどうか など



質問2

コロナ対策で町に望むことや 大人にしてほしかったことは



コロナ感染者がでたら迅速な対応で感染を防いでほしい
年齢が低い人へもワクチンを接種し、接種率を上げてほしい
一人ひとりのコロナの意識を変えるべき など

質問3

コロナの影響により したくてもできなかったこと、我慢したことは



学校行事や、観客を大勢入れての大会
夏休みに出かけることができなかった など



生徒の皆さんの感想

- 貴重な経験となった。
- 町のコロナ対策を知り、くわしくなった。
- 町の現状を知り、未来について考える機会となった。
- 学んだことを今後の活動に生かしていきたい。

など

意見交換会を終えて

～委員長から～

どんな思いでこのコロナ禍を過ごしてきたのか知ることができ、勉強になりました。また、生徒の皆さんの町の未来について真剣に考える姿に、たくましさを感じました。

委員会では今後も、積極的に活動してまいります。



関 清貴委員長

生徒の皆さんは、様々な思いを抱えていることが分かりました。まず、学校生活への影響として、部活によっては大会の中止、他校との練習試合の制限があったとのことでした。そのような中においても、生徒の皆さんはモチベーションを維持し、集中して毎日の部活動に励んでいたとの声がありました。しかし、我慢したことは何かという質問で、観客を大勢入れての大会との答えもありました。頑張ってきた成果を見てもらいたいとの思いもあつたと思います。このようにほかにも我慢していることがあるかもしれません。コロナに関して感じている不満や不安なことについて話を聞き、寄り添うことが大切だと感じました。

また、町に望むこととしてワクチンの接種率の向上などの声があり、感染拡大に危惧している様子がうかがえました。

生徒の皆さんの思いを知ることができ、また、議員としての思いも伝えることができた90分でした。今回の意見交換を通して学んだことを議会活動に生かしてまいります。

学んだことを生かしていく

町民の方から投稿をいただきましたので、紹介します。

ウォーキングコースとオールドマン達の寄り合い所

おおかわ ようぞう
大川 洋三さん

朝5時半、朝刊の見出しだけに通し外を見ると、すがすがしい気持ちの良い朝のようだ。さつそく、運動靴を履きゆつくり歩きます。暇な老人の一日の始まりである。コースは、新しく整備された重茂線である。途中「オランダ坂」を右に下る。4年度中に完成が見込まれる防潮堤工事も、急ピッチで進んでいる。完成が待ち遠しい。やがて小高い所に差し掛かるとそこから山田湾が一望できる場所がある。歩き出して20分くらいのところだろうか。ちょうどその時間帯、湾口の山あいから朝日が昇る頃だ。間もなくして養殖施設のフロートが鮮やかな色に輝いて見える。朝露にぬれたようなときは、なおさらである。ここを通るたびに脳裏に浮かんでくるのが、あの震災後の光景である。これからどうなるかと思う日が長く続いた。あれから10年が過ぎ、今はどうだろうか。整然と並ぶ養殖施設。震災前は、四千台強あった施設も今は半数にも満たない。町の人口の減少に伴い漁業者の減少が大きな要因ではあ

る。湾内には施設が多すぎると、大きな問題になった時期があった。その時のことを考えると区画された漁場と台数を見る限り、適切かなと思っっている。例年9月頃になると、生産を高めるための仕事が続いている。この日も、日中の日照りを避け、早朝からカキの成長を妨げる付着物を温湯により除去する作業船十数隻が作業に当たっている。良いものを作り育てるための大変な作業である。間違いなくその効果は出るだろう。そう願う、いつものコースをゆつくり歩きます。間もなく癒しの「オランダ」が目に入る。ちょうどこのところが、歩くコースの中間点である。この場所こそが現役を退いたオールドマン達の寄り合い場所である。そこで、ある日集まった元気な御老人たちの生活の一部を紹介してみよう。ここに集まる暇な御老人は、みな後期高齢者真っ只中である。マスクのためか、耳が遠くなったのか分からないが、みな声が高い。端から聞いたら言い争いに聞こえるだろう。決してそんなことはな

い。ここに集まる御老人達、そつちこつちから集めた情報を話題に「そうだあ、そうだねえ」とうなずいたり笑ったり、時には強情を張ったり。心の通い合う居心地の良い、寄り添い場所である。遠方からの友人も度々顔を見せる。その時ばかりは話題も豊富になり、談笑も最高潮になる。ここのご主人、本当に温厚な方である。腰は低くいつもニコニコして、私どもを快く迎えてくれる、心優しい方である。この日の寄り合いは、いつもとちよつと違う。総裁選のこと。「誰だべ」と、真剣な雰囲気になったりした。この年代になると足腰は弱まり、世はまさにスマホ時代。新聞、テレビで目にする横文字には置いて行かれ、衰えを感じさせないのは達者なお口だけである。私ども暇な老人達日々の生活を謳歌できる寄り合いどころ、この場所こそが癒しの宿「オランダ」である。オールドマン達、今度はいつどんな情報を拾い集めてくるか楽しみである。

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾りませんか？

表紙の写真を募集しています。第175号掲載分は3月18日(金)を締め切りとします。その後も随時募集します。詳しくは町議会のホームページをご覧ください。



▼コロナ禍によるマスク・消毒が日常となり、自粛に明け暮れた一年でありました。2回目のワクチン接種にて方向性が見えてきた矢先、さらなる変異株の脅威に緊張感が高まっていますが、3回目のブースター接種への体制も着々と進んでいます。

▼昨年は山田高校生徒の高校生議会に始まり、山田中学校生徒と総務教育常任委員との意見交換会、12月定例会には山田高校生徒の議会傍聴等これからの町を担う若い方々に希望と感動そして責任感を頂きました。未来へ向けて、ますますの活躍を期待しています。新たな年も多くの町民の方々に傍聴に来ていただけるよう、より開かれた・より期待される議会を目指していかなければと思いを新たにした定例会でありました。(豊間根信)

発行責任者

議長 昆 暉 雄

議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 横 豊 間 昆
委員 田 部 吉 清
阿 横 豊 間 昆
部 田 部 吉 清
幸 龍 吉 清
一 寿 信 衛